

# SPICE ~生活の中の水辺~

神奈川県大学	斎藤	千夏
	西村	知香
	吉岡	理
日本大学	木村	麻里子
	本郷	寛和
工学院大学	福島	隆徳

# 逗子のまち

逗子の魅力

海・川・山などの自然に恵まれた環境



しかし・・・

現状



**失われた身近な水辺**

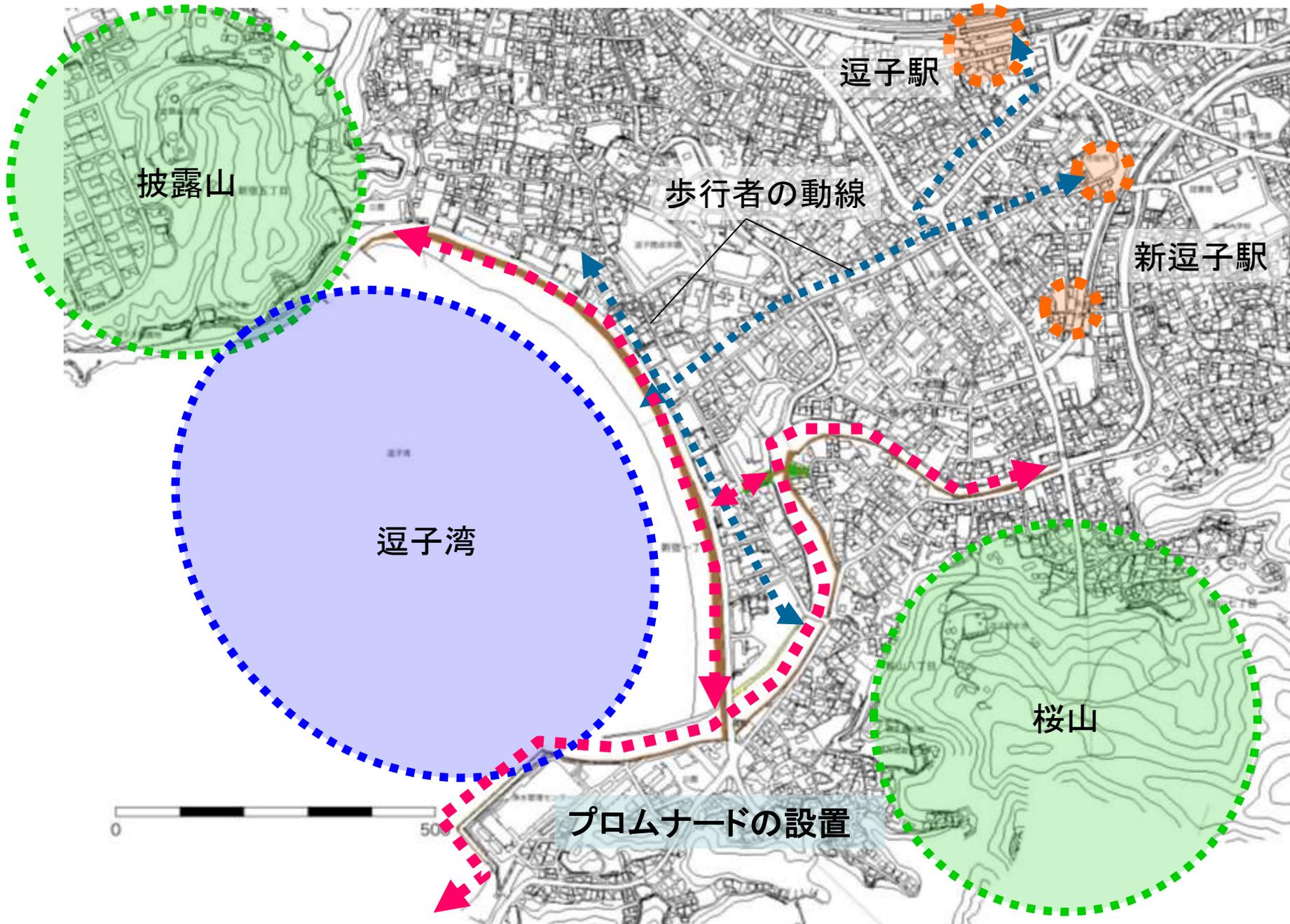
コンクリートに覆われた田越川  
国道で分断された逗子海岸

**歩行者に優しくない川・海岸沿いの歩道  
眺望ポイントの減少**

etc.



安全性・快適性を目指した水辺のプロムナードの設置！！



# 河川

## 自然を感じるできない

具体的には

コンクリートに覆われた河川敷

自然と遊ぶ場所の不足

自然に浸る休息所の不足

生物と触れ合う場所の不足

山などを眺望できる場所の減少

河川に背を向けた建物

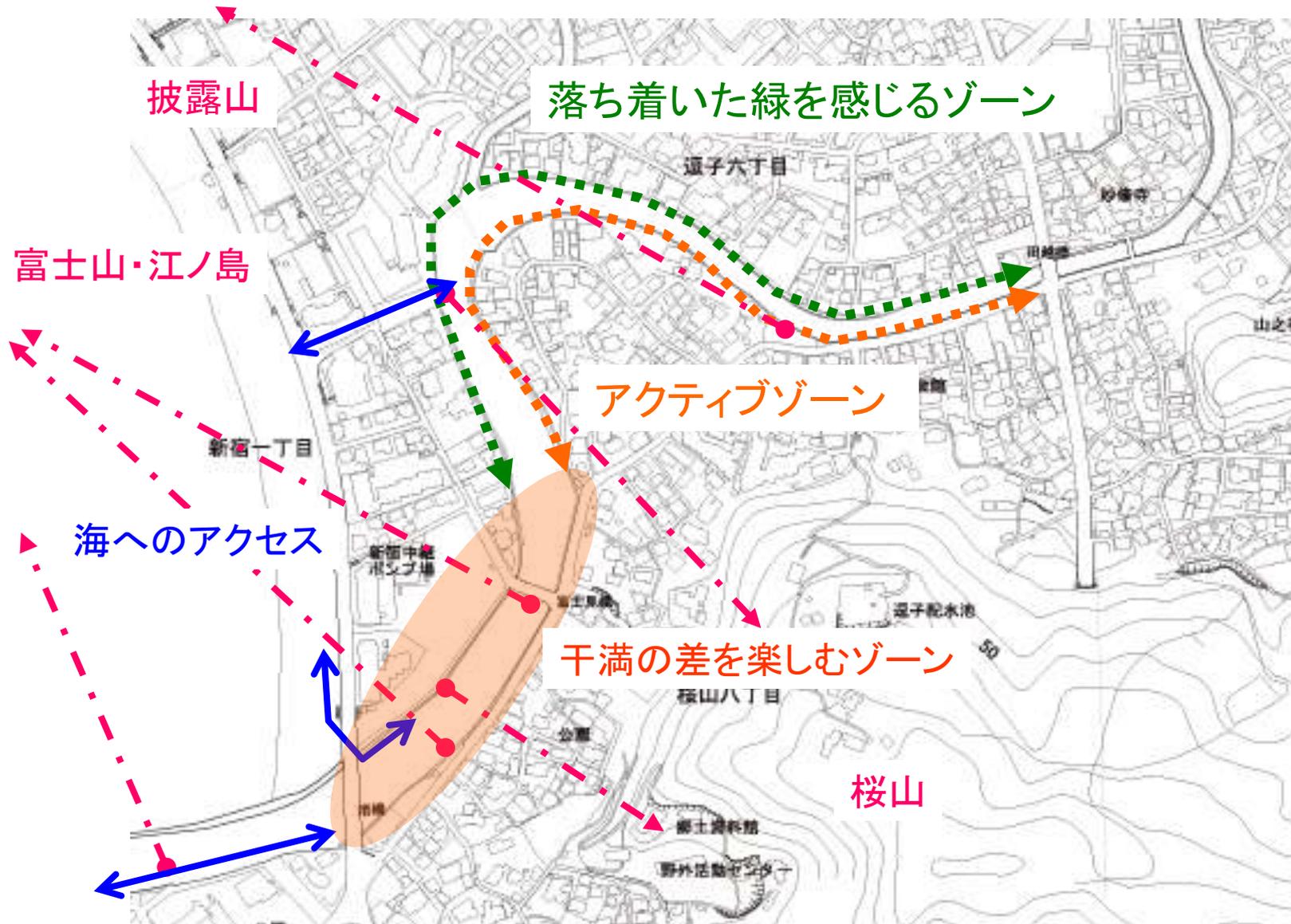
海へのアクセスのしにくさ

etc.



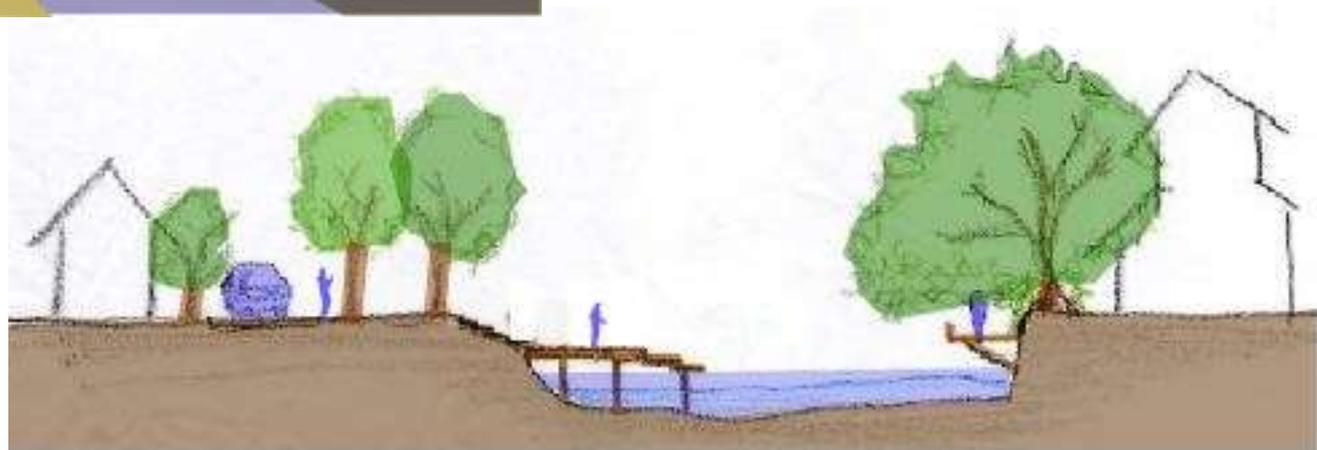
日常生活の豊かさを引き出す！！

# 自然を感じるプロムナード



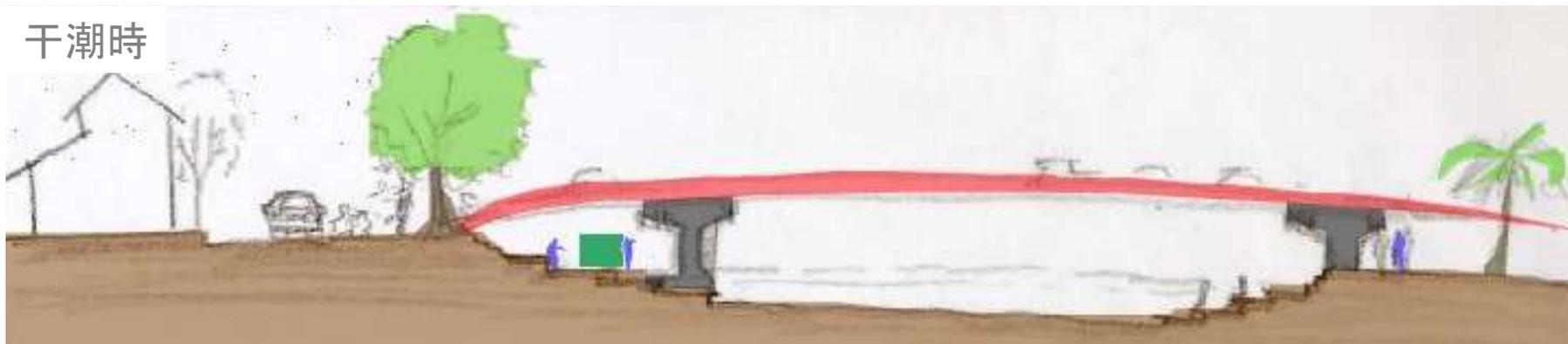
アクティブゾーン

落ち着いた緑を感じるゾーン

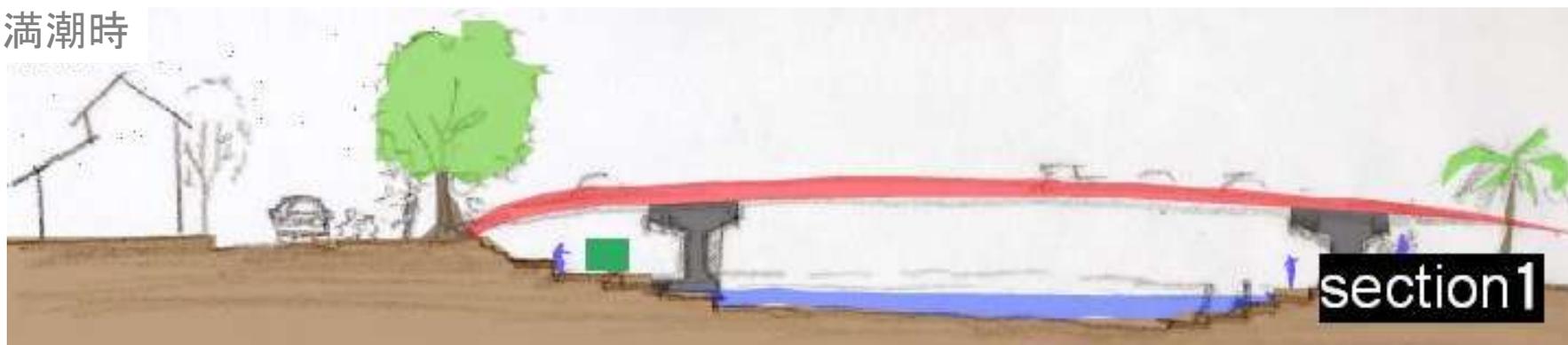


# 干満の差を楽しむゾーン

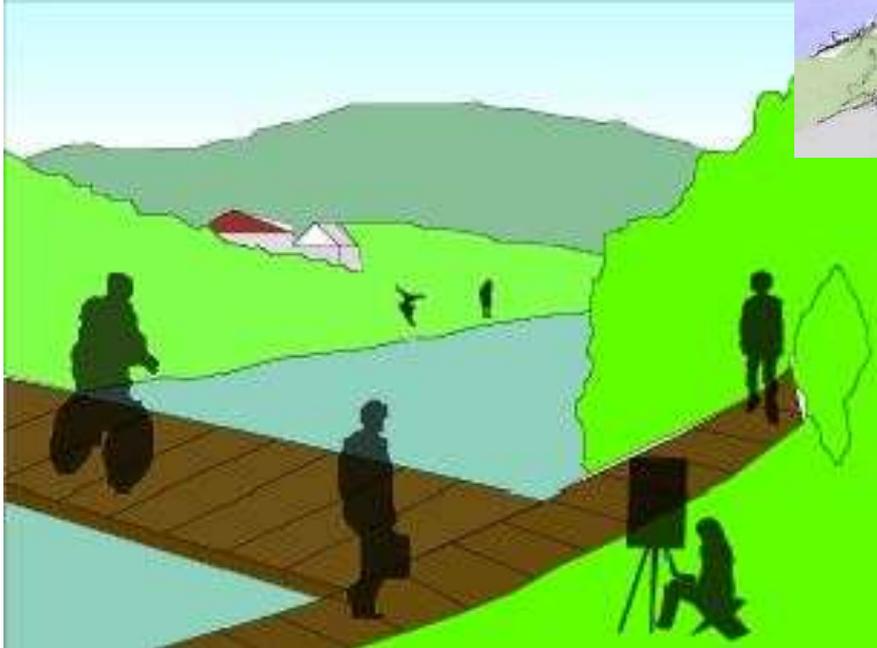
干潮時

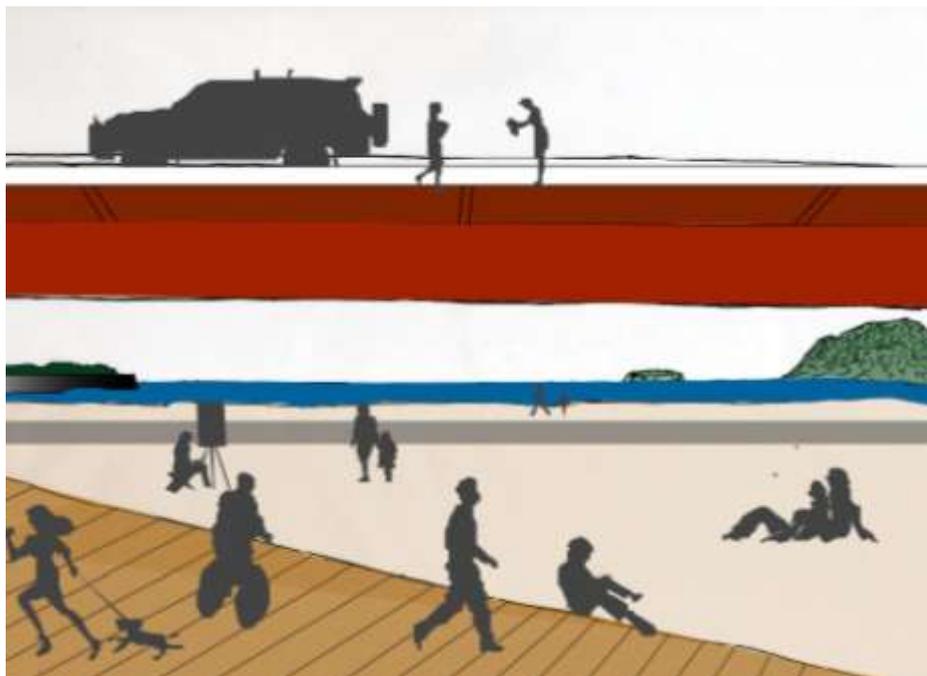


満潮時

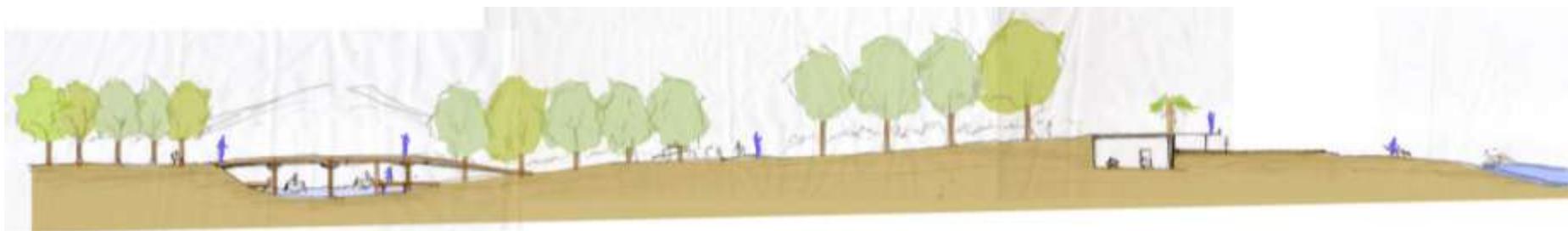


# ビューポイント (桜山)





## 海へのアクセス



# 海

## 現状

海と歩行者、住民と観光客とを分離させている

歩行空間に安全性・連続性がない

現存する国道134号線の交通量が多い

騒音や排気ガスの問題も・・・

# 提案

- 現存する国道をプロムナード(※とし、車線は半地下に通す。

※歩行者専用の空間であり、海を展望できたり、浜辺とは違った魅力がある場となる。休めたり、飲食(キヨスクetc…)を楽しんだりできる。

国道の高低差を利用してふさわしいものを入れる  
(駅からのアクセスや景観etc…も考慮して海の家を配置している)





- 人が安全に通行する事ができ、快適にこの場で過ごす事ができる。



# 逗子のこれから

水辺の復活



自然環境の全体の改善



住民同士、住民と観光客の交流にも・・・

